



# 島Pだより

No.48  
2022.3



## これからのPTA活動に期待すること

島根県PTA連合会

会長 原 完次

平素は島根県PTA連合会の活動に対しましてご理解とご協力をいただきありがとうございます。

未だ終わりが見えないコロナウイルス感染症が拡大し、島根県においてもまん延防止等重点措置が適用されました。学校内でも児童生徒の感染も広がり、多くの学校で部分休校の措置がとられるなど、年度末高校受験や卒業式といった大きな行事を迎える中、PTA会員でもある教員の皆様には厳しい状況下で、子どもたちの学びを止めないようにご尽力を頂いていることに感謝申しあげます。

そして、この2年を超える間、感染症の不安と向き合いながらPTA活動に取り組んで頂きました各单位PTAの皆様にも様々な工夫とチャレンジで活動を継続していただきました。

去る令和3年11月6日に益田市を会場にオンラインで開催しました「第51回 日本PTA中国ブロック研究大会 島根県益田大会」においても3団体から実践発表を行っていただき、子どもたちの学び、大人の学びの継続について今後の活動のヒントがあったように感じます。

現在、予測困難な未来社会に役立てるためにICTを活用して子供たちが主体的に学習する「新しい学び」が始まっています。この大きな変化に対して私たちPTAも今までの考えを応用しながら新しいものを取り入れるために必要な学びの機会を大切にしていきたいと思います。

そしてこれからのPTAは役員や活動が特定の人への押しつけにならない組織運営を行うことが求められてきています。時代にあったかたちに変えて行くこと、誰もが参加しやすいPTA活動であることが必要です。子どもの学びを止めない、誰ひとり取り残さない持続的で魅力ある学校教育、社会・家庭教育を実現するためにも、家庭・学校・地域との連携をとりながら活動を進めて頂きたいと思います。これからも皆様にはPTA活動に対しまして、ご理解とご支援を頂きますようお願い申し上げます。

令和3年度

# 日P会長表彰・広報紙コンクール全国表彰・ 島根県PTA連合会会長表彰

授賞団体及び個人 ※敬称略

## ・日本PTA全国協議会会長表彰

団体：大田市立高山小学校PTA 個人：長谷川修二(松江市)

## ・日本PTA全国協議会広報紙コンクール

日本PTA全国協議会 会長賞 安来市立第一中学校PTA「清流」

## ・島根県PTA連合会会長表彰

団体：大津小学校わくわくPTA(出雲市立大津小学校)

出雲市立第一中学校PTA

大田市立大田西中学校PTA

個人：石倉昭和(松江市)・中山良一(浜田市)・服部由美(江津市)

川本朋和(江津市)・流 靖則(江津市)



## PTAの仲間と先生方と 地域の方々に感謝

松江市立宍道中学校PTA 会長 長谷川修二

私は昨年(2021年)の11月19日に東京のホテルニューオータニにおいて行われました日本PTA全国協議会年次総会において、勿体無くも日本PTA全国協議会会長表彰を賜りました。

当日は、末松文部科学大臣のご臨席を賜り、荘厳かつ厳粛な中で式典が執り行われ、清水全国協議会会長より一人一人に表彰状が手渡されました。

末松文部科学大臣は祝辞の中で、『PTAは学校、保護者、地域を繋ぐために無くてはならないものであります』『子どもたちへの教育と教育環境の向上のために、今後も行政とともに活動して頂きたい』との感謝と期待を述べられました。

私はこれまで保育園時代を含め25年間にわたりPTA活動をさせていただきました。

私がPTA活動をして参りました思いは、本来親がきちんと育てていかなければならない子どもたちを、1日の大半を保育園や学校の先生方にお世話になりながら育てていただいていることに対して、少しでもご恩返しが出来ればと思ったところからであります。

これまで活動を続ける中で、まわりのPTAの仲間や先生方、地域の方々に幾度となく助けられ、ご協力を頂いたことに対しましては本当に感謝の念に堪えません。

このたびの日本PTA全国協議会会長表彰は皆様とともに頂いたことを片時も忘れることなく、これからもお世話になりました先生方に対するご恩とPTAの仲間や地域の方々への感謝を忘れずに、子どもたちのためになるPTAのために、協力し活動して参りたいと思います。

本当にありがとうございました。

# 事業報告

## 厚生委員会

### 三行詩の募集と審査

厚生委員会委員長 石川 芳廣

厚生委員会は、松江・安来・隠岐地区が担当となり、三行詩の募集と審査を実施しました。今年度の応募総数は、小学校の部314点、中学校の部6点、一般の部61点の計381点でした。6月に一次審査を7月に二次審査を行い日本PTA全国協議会へ推薦しました。10月に応募者の皆さんに参加賞と賞品を送付させていただきました。

コロナ禍における生活環境の変化によって家庭で過

ぎす時間が増えたことによる、親子の関係の変化がうかがえる作品が多くみられたのではないかと思います。しかし、応募される学校にかなりの偏りがあったのは少し残念でした。

最後に今年度の応募に感謝申し上げるとともに、来年度に向けて啓発活動を活発にすることにより県内全域の学校から少しでも多くの作品が応募されますようよろしくお願いいたします。



## 環境対策委員会

### SOGIに関するアンケート調査

環境対策委員長 伊藤 篤

昨年行われた東京オリンピックは、コンセプトの一つに「多様性と調和」を掲げて開催されました。オリンピ



クを通じて世界の人々が「多様性と調和」の大切さを認識し、共生社会を目指すこととされていました。特に今回のオリンピックでは180名以上のトランスジェンダーを公表している選手が参加し、性の多様性についても世界的に認められつつあります。

一方、鳥根県は「性の多様性が認められる学校作り」を推進するなど、力を入れているようですが、広く現状把握はされていません。小中学校では児童や生徒の多様性に対し、どういった対策、対応をとっているのでしょうか。このことから今回は性の多様性に対し、各学校の現状を調査する必要があると考えました。

そして、アンケート調査の結果100%に近い回答をいただき、各校がどういった状況なのか調べることができました。この結果をもとに、鳥根県の掲げる「性の多様性が認められる学校作り」の一助となればと思います。

## 家庭教育委員会

### 「家庭教育」考えるきっかけに!!

～鳥根県の小中学生保護者の皆さま

アンケートにご協力をお願いします～

家庭教育委員長 中村 美帆

なぜ今「家庭教育」と言われるのでしょうか。改めて家庭教育と聞かれたら、何と答えますか？

今回は家庭教育について家庭内、周りの方たちと話すきっかけになることを期待して、アンケートを行いたいと思います。来年度家庭教育への取り組みやどのような環境を整える必要があるのかなど、鳥根県全体で考えていきたいと思っております。

お忙しい折ですが、どうぞ協力よろしくお願いいたします。

アンケート実施期間 3月1日～3月18日

<https://forms.gle/hhxq3sFYZAjbrYNV7>





## 【出雲地区】

# 自分らしく生きることが 当たり前になる社会を目指して

出雲市PTA連合会

副会長 黒崎 智之

昨今、多様性の尊重が以前にも増して重要視されてきています。しかし、多様性の理解は十分に進んでいるとは言えず、特に我々親世代での理解は乏しいように思います。

そこで出雲市PTA連合会では、誰もが多様な生き方を認め合い、いじめや偏見のない社会を目指して、多様な生き方の一例であるLGBTQについての研修会を出雲市内のPTA会員を対象に開催しました。

講師には、島根のちよっこしLGBTQ相談室から多賀法華さん、島根県雲南市教育委員会から佐藤文宣さんをお招きし講演していただきました。

多賀さんからはLGBTQ当事者の立場からご講演をいただき、ご自身が学生時代に体験された様々な悩みや葛藤を交えてお話をしていただきました。LGBTQ当事者の学生時代の話を伺う機会は滅多になく、学校生活には困難な場面が多いことを知ることができ、大変貴重な時間となりました。

佐藤さんからは、ご自身の校長時代に経験されたLGBTQの生徒の受入事例をもとに、教育者の立場からお話して

いただきました。教育現場で実際に行われたLGBTQに関する授業や生徒の受け入れのための体制づくりのお話を聞き、教育現場の苦勞を知ることができました。また、LGBTQ教育を進めていくことで変わっていった生徒たちのリアルな反応をお話いただき、教育により多様性への理解は確実に深めていけることも学びました。

当日は約70名の方が参加され、多くの方がLGBTQへの理解を深め、多くの新しい気づきが得られました。

講演の中で紹介された「生まれてきてから最後まで自分らしく生きる」という言葉が当たり前を実現できる社会を目指して、今後もこのような研修が各所で開催されれば良いと思います。



## 【浜田地区】

# 2年目のロードレースを 振り返って

浜田市立浜田東中学校PTA

会長 沖田 真治

令和2年度より浜田東中学校の取組として始めた、全生徒を対象としたロードレース大会を今年度も実施しました。新型コロナウイルス感染予防のため、多くの学校行事やPTA行事を自粛せざるを得ない状況が続いた昨年より始めたこの大会ですが、昨年同様に感染予防対策を十分に行ったこと、学校関係者、保護者の協力があったお陰で、今年も無事に終えることが出来ました。

昨年は初めての試みでもあったので、当然のことながら多くの生徒と保護者の「なぜ?」という意見がありました。「こんな時期に大丈夫ですか?」は当然のこと「走るのが苦手な子には辛いだけ」など、開催を疑問視する意見も多くありました。昨年度は大会の振り返り調査を生徒、保護者を対象に行い、「辛かったけどやってよかった」「地域の人たちの応援が嬉しかった」などの好意的な感想が多くの生徒から寄せられました。保護者からも「最初はどうなる事かと思ったけど、生徒たちの頑張る姿がとても良かった」との意見や、次期開催に向けての改善点などを指摘する前向きな意見が多数寄せられました。

また、沿道で応援してくださった地域の方々からも「コロナ

で何も無い時、元気に走る子どもたちの姿に元気づけられた」との意見も寄せられました。中でも先にゴールした生徒が、まだゴールしていない生徒を大きな声で励ましている光景を昨年に続き見られたことが、とても印象的でした。見ていだけでうれしくなる光景は周囲を元気にしてくれる、「生徒の頑張る姿にははとてつもない力がある」と47歳のオッサンは実感しています。

昨今では人との関わりが希薄になり、コロナ禍が更に拍車をかけている状況が今でも続いています。この大会が、浜田東中校区の地域と学校を繋ぐ行事として、生徒たちの頑張る力を育む浜田東中学校の恒例行事として長く続けばと願っています。



# PTA 活動紹介

【隠岐地区】

## コロナでもできる事を考える!! 作る!!

海士町立福井小学校PTA

副会長 吉田 公三

私達の福井小は、海士町にあります。人口約2300人の小さな町は、地元の人達とI・Uターンの人達の絶妙なコラボが観光、漁業、農業、畜産業、そして教育の場を盛り上げる大変活発な島です。この島は、町の掲げる「ないものはない」という旗の元、人口減少に歯止めを掛ける人の集まる島です。

教育面では、地域や学校の行事での児童の活動には、海士町の歴史と今、未来に対する思いを取り入れ、発表したり劇を演じたりする姿を見ます。勤務族の私には、我がとこを大切に愛する教育がしっかり根付いている学校だと大変強く感じました。この島の小学生は、町長にさえ物申す将来島を支えていく島の宝的存在です。しかし、近年のコロナ禍の波は、終息の目は見えず、ふれ合うことで多くを学ぶ子供達の今の時間に大きな影響を与えます。

コロナにより中止という恐怖の中、我々PTAは、ふれ合う時間の大切さをなくさないために今でもできることを考える、作るこ

とを使命に動きました。福井小PTA恒例行事「夏のアカテガニ祭り」を開催しました。コロナの基本対策、内容等留意し、子供達のふれ合う時間を作りました。各学年PTA理事がゲームや出し物を考え、教室や体育館、中庭を使い、子供達や家族とふれ合い、楽しむ土曜夜市のようなお祭りです。スリッパ飛ばし、箱の中身はなんじゃろな、スライム作り等、各クラスの多彩な出し物に参加者は大いにはしゃぎました。裏方の準備から片付け等、皆で協力して何かを成す行事は、子供達にとって有意義な時間だったと信じています。

今、島根県もまん延防止等重点措置と言うより厳しい波が押し寄せてきましたが、島の宝である子供達の大切な時間を守るため、学校と協力し、常に前向きにPTA活動を考え、作っていききたいと思います。



【松江地区】

## ピンチをチャンスに変えて

安来市PTA連合会

会長 花谷 勇

新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、PTA活動がままならない状況です。どうすればこの現状と向き合いながらPTA活動を継続できるかを模索する中、昨年度のPTA役員の皆さんが実施して下さった親睦大会の存続に対するアンケート等も参考にしました。PTA活動を縮小しながらも、子どもたちの為に、新しいスタイルで活動を継続しております。

まずは、今年度の親睦大会の中止と今後の大会を廃止することを取り決めました。楽しみにしておられる保護者の方々もおられますが、今後減少していくPTAの会員数、単Pでの参加の難しさを考えれば、やむを得ない判断であったことをご理解いただきました。

また、PTA活動の方法も変わるはずですが、今までのやり

方プラス、オンライン、その両方で取り組むハイブリッド方式や、ラインなどをフルに活用した分散型の会議など、学びの機会と実りある学校生活の持続を学校と協議しながらサポートしていきたいと思っています。まさにピンチはチャンスです。

最後になりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、先が見えない状況ではありますが、今こそ保護者、学校、地域が今まで以上に連携して、人を思いやり、お互いを尊重し合う大切さを失わせないよう協力する必要がありますと考えます。コロナに負けない、そして学びを止めない「PTAの新しい活動様式」を皆さんで意見を出し合い、構築していきましょう!





令和3年度

# 島根県幼こども園・小中・高・特別支援PTA 合同研修会

講師 宮崎 紀雅 氏(島根大学教育学部准教授)

研修テーマ

## 『子どもの成長に親としてどう寄り添うか』

～子どもと向き合う時に大切にしたいこと～

○期日：令和3年11月27日(土) ○会場：八雲アルバホール(松江市)

この研修会は、本連合会も構成員となっている島根県幼こども園・小中・高・特別支援PTA連絡協議会と島根県教育委員会が共催し、企画・運営を行っています。

今年度もコロナ禍の中、様々な感染対策を講じて開催し、145名の方にご参加いただきました。

講師の宮崎氏には、「子どもの成長に親としてどう寄り添うか」をテーマに、子どもの特性の違いや特性に応じた声かけ、関わり方などを、クイズや事例を交えながらわかりやすくお話していただきました。

参加者も右脳タイプ、左脳タイプによる認知特性の違いを実感したり、日常の場面を想定して、子どもにどのような声かけをするかを考えたり、自身の生活に活かすことができる実りの多い研修となりました。

近年、様々なメディアが発達し、多くの情報に触れることができるようになり、便利になった反面、子どもの成長に過度な期待や不安をもち、焦ったり、心配になったりする親も多いと言われます。宮崎氏からは、「親が子どもに困ったと感じたときは、親が困っているのではなく、子どもが困っていると発想を換えてみる。」「子どもの不快感情を共感しながら受けとめ、次どうしたらいいかを一緒に考える。」など、子ども自身の特性や思春期を理解し、子どもに寄り添うこと、子どもに任せて待つことの大切さを学びました。

今後も、保護者として子どもたちの成長を支える上で大切にしたい知識や考え方、学校・家庭・地域の連携やPTAが果



たす役割などについて学ぶ研修の機会をもっていきたいと思えます。

### ●参加者の感想から…

- すぐにでも我が子のありのままを抱きしめてやりたいと思うようなとてもよい内容でした。
- 子どもの立場での声かけ、工夫…。まだまだできることがたくさんあるなど思いました。毎日、楽しく、かけがえのない時間を過ごしたいと思えます。
- PTA会員同士と一緒に考え、話す機会がもてたことで、思いを共有し、話の内容を深めることができました。

## 島根県PTA連合会 小・中学生総合保障制度からのお知らせ

当保障制度への加入の有無や加入プランの確認は  
取扱代理店または島根県PTA連合会事務局まで直接お問い合わせください。

取扱  
代理店

東部地区、大田、邑智郡、隠岐郡、益田、鹿足郡の  
学校に通っておられる方  
有限会社メイジ TEL.0120-001-230 (通話料無料)

浜田、江津の学校に通っておられる方  
有限会社コテラ総合保険  
TEL.0855-28-2121

## 【益田地区】

吉賀町立七日市小学校PTA

会長 河野 千明



# 事務局だより

## 令和4年度事業について

### 1. 広報紙コンクール

- (1) 応募締切日  
令和4年3月31日(木)
- (2) 応募条件  
・年1回以上発行していること  
・それぞれ各3部ずつ送付  
(コピー・穴あき不可)



### 2. 県P連会長表彰

- (1) 団体締切日 3月31日(木)
- (2) 個人締切日 4月28日(木)

### 3. 大会等の予定

- (1) 新旧役員会 6月4日(土)午後~ホテル白鳥
- (2) 委員総会 6月5日(日)午前10:00~  
ホテル白鳥
- (3) 島根県PTA連合会研修大会大田大会  
8月7日(日)
- (4) 日P山形大会 8月26日(金)・27日(土)
- (5) 中国ブロックPTA研究大会くらよし大会  
11月12日(土)
- (6) 幼こども園・小中・高・特別支援PTA連絡協議会  
研修大会 会場:江津市  
11月26日(土)午後(予定)

# 「可能性は無限大」

## (中ブロ益田大会)

出雲市PTA連合会 会長 伊藤 篤

11月6日に第51回日本PTA中国ブロック研究大会島根県益田大会が「元気な家庭!元気な学校!元気な地域!~つろうて子育て 清流の若鮎のごとく~」のスローガンのもと開催されました。

実践発表では松江市の千鳥の杜学園PTAの活動がとても印象に残りました。まずPTAというのは各学校で活動するものと考えていたため、小中一体となって活動すること、また松江城という地元の財産を題材に、地域の愛郷心を育みながら独自の学びの場を作っていたことにPTAとして活動の幅の広さを感じることができました。

そして記念講演は大嶋啓介氏に人の可能性についてご講演いただきました。話の中でノミは自分の体長の何十倍の高さを飛ぶことができるのにも関わらず、10cmのビンに入れて蓋をすると、後日蓋をあけてもビンから出ることができないという研究結果から、人もこれと同じで、本来できることもできな



いと思っ込んでしまうとそれ以上の力は発揮されないということ。そういった状況を作ることが子どもたちの可能性に蓋をしてしまうのだとわかりやすくお話いただきました。そして、①自分の可能性を信じること、②仲間がいること、③人の力になりたいという利他の心を考えさせることで子どもたちの可能性は無限に広がっていくと熱く語っていただきました。

今回の研究大会は多くの会員がオンラインでの参加となりましたが、新しい可能性を示せる大会になったと感じました。

# 小・中学生総合保障制度

(こども総合保険)

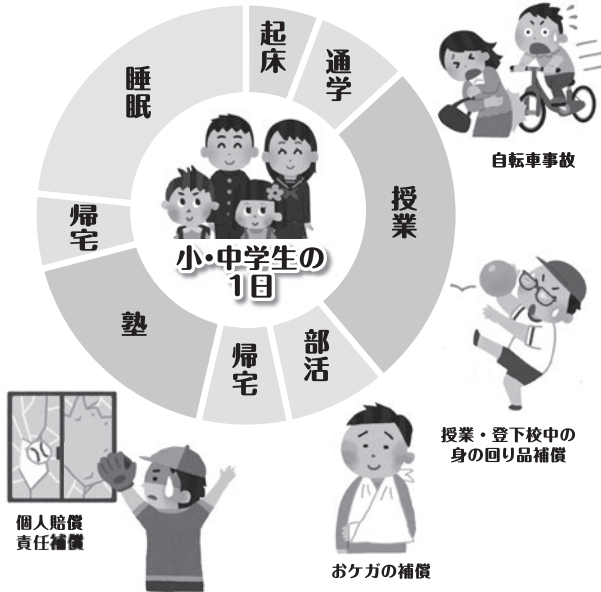
全プラン

新型コロナウイルス  
ウイルス感染症に **対応!!**

(詳しくはパンフレットをご確認ください。)

2022年3月現在の内容です。

選べる4プラン (2022年度版)



年間掛金 [一時払]	
ZCプラン	17,000円 (1年分の掛金)
SCプラン	10,000円 (1年分の掛金)
TCプラン	7,000円 (1年分の掛金)
ACプラン	5,000円 (1年分の掛金)

## 総合保障制度の特長

※プランによってセットされている補償項目は異なります。総合保障制度の詳細に関しましては、パンフレットをご覧になるか引受保険会社にお問い合わせください。

- 補償期間中、1日24時間(学校の休みの日も)補償  
(ただし、一部の補償は24時間補償ではありません。)
  - 自転車事故による第三者への法律上の損害賠償責任も国内無制限補償
  - 学校貸与の端末(タブレットなど)を誤って壊して、法律上の損害賠償責任が生じた時も補償
  - お子さまがケガをした場合に補償
  - 熱中症、細菌性食中毒、ウイルス性食中毒を補償
  - 特定感染症補償
  - 地震・噴火・津波によるケガを補償
  - 学校の授業・登下校中などにお子さまが携行している身の回り品を補償  
(修理費または時価額のいずれか低い金額を補償します。※自転車等一部補償対象外のものがあります。)
  - お子さまの病氣入院・手術を補償
  - オンラインで簡単に保険金請求(デジタル保険金請求)
- ※ご利用条件とご利用方法は、後日送付する加入者証でご案内します。

【取扱代理店・級者】  
東部地区、大田、邑智郡、隠岐郡、益田、鹿足郡  
…(有)メ イ ジ (0120-001-230)  
浜田、江津  
…(有)コテラ総合保険 (0855-28-2121)

【引受幹事保険会社】  
**AIG損害保険株式会社 山陰支店**  
松江市伊勢宮町519-1 松江大同生命ビル6F  
(受付時間:午前9:00~午後5:00 土日・祝日年末年始を除く)  
TEL.0852-26-2781 FAX.0852-26-2776

承認番号: S-220395 有効期限: 2023年2月

